

令和2年度 社会福祉法人双樹会 事業計画書

【理念】 『我々グループは幸齢社会を創ります』

我々グループは、今後増大する高齢者の医療、福祉の要望や要請に対応したサービスを創造する社会的使命を自覚し、精神的、肉体的苦痛や負担を軽減し、残りの人生を安心して幸福に送って頂ける環境を提供します。

I 基本方針

医療との連携が、在宅・施設ともに重要であり、重度化対応、若年性認知症対応、認知症ケア、看取りケアとより専門的な知識、技術によるサービス提供、ケアマネジメントが求められ、ACP（人生会議）の視点でのマネジメントも必要となります。施設においては介護職による医療的ケアのさらなる実践に取り組みます。

「地域包括ケアシステムの深化」における施設の役割、地域福祉拠点、社会福祉法人としての地域貢献活動の役割機能を充実し、また天災における災害発生時の法人内でのリスク管理、地域との災害連携協力においても、事業継続の基盤として法人運営に反映していきます。

「働き方改革」に伴い、就業規則のさらなる見直し、職場環境の改善を継続していきます。処遇改善手当の標準化、介護ロボット導入、ICTの活用、介護機器更新による業務効率化を推進し、研修制度の充実、資格取得支援等による人材育成、人材定着人材確保に取り組んでいきます。また、サービスマナーについては、介護業界においても必須であり、法人職員としての基本姿勢として捉え、コミュニケーションスキルと合わせて、対人援助としてのスキル向上に努めていきます。

II 重点課題

1. 適切で質の高いケアマネジメントの実践
 - ・適切なケアマネジメントの実践
 - ・自立支援、生活機能向上、重度化防止に向けたアウトカム評価の実践
 - ・ACP視点でのケアマネジメントの実践
2. 人材確保・人材定着・人材育成の推進
 - ・介護ロボット、介護機器導入による業務改善効率化の推進
 - ・サービスマナー向上、対人援助スキル向上
 - ・就業規則の整備
3. 地域における公益的な取り組み
 - ・地域の福祉ニーズに応える取り組み、地域貢献の実践
 - ・福祉避難所としての災害リスクへの対応、取り組み

Ⅲ 組織運営

1. 会議の開催

- ・理事会 年2回、随時開催
- ・評議員会 年1回、随時開催
- ・管理者会議 事業所別会議の定期開催
- ・委員会の定期開催

入所検討・リスクマネジメント・身体拘束適正化・感染褥瘡予防・安全衛生・安全・地域貢献
研修・認知症ケア・ノーリフトケア・食事口腔・排泄入浴・看取りケア・ケアマネジメント

2. 社会福祉法人双樹会組織図・職員配置表 (別紙)

Ⅳ 事業

事業テーマ

- ・生きる力、意欲を引き出す環境づくり・その人らしく生きることへの支援
- ・生活における「活動」「参加」への機会の実現

1. 施設部門

(1) 特別養護老人ホーム [定員50名]

* ベッド稼働率 98%

① 個別ケアの実践

- ・ケアプラン、栄養ケア、機能訓練、褥瘡マネジメントの実践
- ・医療との連携による看取りケア、医療的ケアの実践
- ・専門性向上のための各委員会活動
(食事口腔・排泄入浴・看取り・認知症ケア・ノーリフトケア・褥瘡感染・医療ケア)

② ノーリフトケアの実践

- ・介護機器・福祉用具の活用実践
- ・適切なポジショニング・シーティングの実践
- ・介護職の指導的役割の養成

③ 人材確保・育成・定着

- ・年間計画での外部研修への参加、施設内勉強会の開催
- ・介護機器導入による業務効率化の推進

④ 地域貢献

- ・介護教室、介護相談会開催
- ・地区社協との協力連携
- ・地域行事への参加、協力、連携
- ・ボランティア受入、連携
- ・講師派遣 (介護マイスター・認知症アドバイザー・栄養士)

(2) 短期入所生活介護事業所（介護予防） [定員 8 名]

- * ベッド稼働率 85%
- ・在宅介護の継続支援
- ・認知症ケア加算の取組み

(3) 広島市重度障害者入浴サービス事業（広島市受託）

2. 在宅部門

(1) 通所介護事業所 [定員 35 名]

- ・1日平均利用者数 23名（介護・総合）
- ・実利用者数 80名（介護65名・総合15名）
- ・新規利用者数 36名（介護33名 総合3名）

① 生活機能向上に向けた心身機能、活動、参加の実践と評価

- ・通所介護計画書・機能訓練計画書に沿ったサービス提供の徹底
- ・「活動・参加」を視点とした個別機能訓練の実施
- ・生活機能維持向上評価の実践（バーセルインデックス評価）
- ・心身機能維持向上できる活動、行事の提供

② 専門性の高いサービス提供の実践

- ・中重度の対象者であっても社会性の維持を図り在宅生活の継続のケアを計画的に実施するプログラムの作成（中重度ケア体制加算）
- ・認知症の症状の進行の緩和のケアを計画的に実施するプログラムの作成（認知症ケア加算）
- ・栄養指導、助言の実践
- ・年間計画での勉強会の実施

③ 新規利用者の獲得

(2) 居宅介護支援事業所 [主任介護支援専門員 1 名 介護支援専門員 2 名]

- ・介護給付利用者 月 95 件
- ・予防給付利用者 月 25 件
- ・介護認定調査 年 30 件
- ・特定事業所加算Ⅲ

① 住み慣れた地域での継続的な生活の支援

- ・状態の維持・改善を目指した自立支援型ケアマネジメントの実践
 - 【要介護度の維持改善】
 - 【自立支援型のケアマネジメントの作成】
 - 【24時間対応相談における対応】

- ・地域包括支援センターとの連携
【利用者の円滑な受け入れ】
- ・共生型サービスへの対応
【障害福祉相談支援専門員との連携】
- ・地域のインフォーマルサービスの情報収集と活用
- ② 公正中立適切な質の高いケアマネジメントの実践
【適切なケアマネジメントの実践・評価】
【事業所内研修の実施・事業所外研修の参加】
- ③ 医療機関等との連携促進
 - ・健康状態の維持安定（主治医との連携）
 - ・中重度者・支援困難・若年性認知症ケースの積極的な介入、対応
 - ・医療と介護の連携の強化
【入院時、平時からの医療機関との連携促進】
【退院・退所時の在宅生活への円滑な支援】

3. (広島市受託) 広島市城山・五日市観音地域包括支援センター

必置職員 6 名・地域介護予防拠点整備促進事業 1 名
高齢者地域支え合い事業 1 名・予防プランナー 1 名

- ① 健康づくりと介護予防の促進
 - ・介護予防拠点の立ち上げ支援及び運営支援
 - ・介護予防マネジメントの質の更なる強化
【地域ケアマネジメント会議の開催】
 - ・介護予防教室の開催
- ② 見守り支え合う地域づくりの推進
 - ・地域における見守り・支え合い活動等の促進
【高齢者地域支え合い事業の推進】
- ③ 在宅医療・介護連携の推進
 - ・多職種連携のための情報交換会の開催
 - ・入退院時情報提供シートの普及活動
- ④ 認知症地域支援体制づくりの推進
 - ・個別ケースに対応した支援体制と認知症の人と家族等に対する地域支援体制づくりを進める。
【認知症サポーター養成講座の開催】
【地域ケア会議の開催】
【居宅事例検討会の開催】

V 防災体制の充実

1. 計画に基づいた各種訓練の実施

訓練種別	実施月	訓練内容	備考
総合訓練	5月 10月	夜間体制	消防署立会
部分訓練	5月 10月	消火	消防署立会
災害訓練	9月	土砂災害 地震	
伝達訓練	5月 10月	一斉メール	

※災害発生時の福祉避難所の設置・非常食の備蓄

2. 点検の実施

点 検 者	点 検 月
広島総合警備保障（法定点検）	7月 1月
火元責任者（自主点検）	4月 10月

VI ボランティア登録

団体・氏名	活動内容	活動日
観音西地区社協	レクリエーション・外出等	毎週火曜日
伊賀 浩子	書道	第4火曜日
山本 茂穂	生花	行事

VII 陽光の家家族会との共催行事 令和 2年度事業計画

年月日	行事内容
令和 2年4月	家族会総会
令和 2年6月	介護教室
令和 2年7月	夏祭り
令和 2年9月	敬老会
令和 2年11月	介護教室
令和 2年12月	忘年会
令和 3年3月	役員会

VIII 設備等の管理

1. 備品・修繕

設備備品・修繕	時 期	内 容
設備・備品	令和 2年度	ナースコール（特養） 特殊浴槽（特養）
介護機器	令和 2年度	見守りシステム（特養）
屋内外改修	令和 2年度	エレベーター入替 エアコン1階

2. 車両管理状況

事 業 所	車 両 管 理
介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業所	リフト付ハイエース（平成27年4月） リース
	リフト付ハイエース（平成26年2月） リース
	タント車椅子（平成26年2月）
通所介護事業所	セレナ（平成23年6月）
	ハイゼット車椅子（平成29年3月）
	セレナ車椅子（平成31年4月） リース
	リフト付ハイエース（平成22年1月）
居宅介護支援事業所	トール（平成31年2月） リース
	アルト（平成28年2月） リース
	バイク2台
地域包括支援センター	ミラ（平成23年4月） リース
	ミラ（平成27年12月） リース
	ミラ（平成27年12月） リース
	アルト（平成28年4月） リース
	バイク2台

3. 建物等維持管理状況

建物の機能の維持と耐久性の確保などを目的に委託管理及び自主点検の実施

委 託 業 者	委 託 管 理 内 容
中国電気保安協会	電気設備点検 電気事故
メンテナンス広島	エレベーター管理・汚水槽
広島自動ドア販売	自動ドア管理
ネポン(株)	ボイラー管理
広島総合警備保障	消防設備点検
センター事業団	床管理、トイレ清掃、廊下、居室